



市長日記

## 卒業 おめでとう

今年、市内では小学校 274 人、中学校 325 人の児童生徒が卒業しました。

期待と希望に胸を膨らませ、初めて登校した日。あれから多くの先生や友達、地域の人と出会い、たくさんの思い出ができたことでしょう。思い出と挑戦する心を胸に、新たなステージでの活躍を願っています。



◀ 3月13日は井尻小学校卒業式に出席し、花道で卒業生を見送りました。



このマークの記事は、関連写真を「市公式フェイスブック」で公開しています。



紹介します  
出来事を  
まちの話題や

# たうん とぴくす

TOWN TOPICS

今月の1枚



あたたかな春の陽気の中、市内各地で桜が見頃を迎えました。市内のお花見スポットには多くの人が訪れ、家族でお弁当を広げたり、のんびりと散歩や写真撮影を楽しんだり、待ちわびた春の風景を満喫する笑顔であふれていました。 4月4日：月山富田城跡



## スポーツの才能を発掘

▲最新機器で分野ごとの能力を測定。自分の得意な動きや苦手な動きを知りました。

3月11日、広瀬中央公園総合体育館で第一生命島根支社と DOSA（スポーツ能力発見協会）主催のスポーツ能力測定会が開かれました。

当日は小学生 43 人が参加。最新機器で運動能力を測定し、自分に向いているスポーツやトレーニング方法の提案などを受けました。

十神キッズで野球に励んでいる石原陽さんあさひは「バランスとスイングの分野が良かった。今後は苦手な持久力のトレーニングを頑張りたい」と話し、今後の目標を見つけていました。

3月8日、道の駅あらエッサで「やすぎいちご祭り 2026」が開催されました。

市の特産であるイチゴを市内外に広く PR するいちご祭り。イチゴの販売や安来産イチゴを使用した店舗マルシェのほか、やすぎのいちごイメージキャラクター「やすぎのいっちゃん」とのじゃんけん大会などが行われ、多くの来場者で賑わいました。

高見謙一いちご生産部会長は「消費者と交流し、特産品を生産する自覚と、さらに品質を高めていく必要性を再認識した」と話し、産地の意欲を語りました。



## 7年ぶりのいちご祭り

▲「先端をそろえるのが難しかった」手早くきれいに詰める「いちごのパック詰め」に挑戦。



▲最後の校歌斉唱。会場が一体となって歌い上げました。

## ありがとう山佐小学校

3月21日、山佐小学校で閉校式が開かれました。前身から数えて約150年の歴史がある同校。式典には児童や卒業生、地域住民など約180人が参加し、長年親しんだ学び舎に別れを告げました。また、式典後には校舎が一般開放され、参加者は教室を巡りながら、それぞれの思い出を振り返りました。

今年度卒業した佐々木輝磨<sup>てるま</sup>さんは「自然豊かな学校で、地域の人とも仲良く細やかな学びができた。山佐小での学びを生かし、中学校でも頑張りたい」と話し、学び舎への感謝と今後の決意を語りました。

3月23日、アルテピアで「社会福祉法人災害時応援協定締結式」が行われました。

支援を必要とする方々が利用する社会福祉施設では、災害時でも必要な支援を途切れさせることなく、提供し続けることが求められます。

今回の協定により、災害や感染症の発生などで施設の機能が維持できなくなった場合の応援体制（職員の派遣）が整備されました。市内すべての社会福祉法人（10法人）が協定締結しており、今後は合同研修や模擬訓練を通じて、連携が強化されます。



▲構成法人は、保育施設・高齢者施設・障がい者施設などを運営しています。

## 県内初 応援協定締結

3月下旬から4月上旬にかけて、広瀬、布部、母里の3会場で開催された「おひなまつり」。各会場では、大切に受け継がれてきた時代雛や手作りの雛飾りなど、個性豊かな人形が数多く展示されました。来場者は、会場ごとに趣の異なる春の風景や、美しく並んだお雛様の表情をゆったりと鑑賞しながら、町歩きを楽しんでいました。

また、4月5日には飯梨川で恒例の「ひな流し」も行われ、参加者は棧<sup>せんば</sup>俵に乗せた雛をそっと水面へ浮かべ、健やかな子どもの成長を祈りました。



▲広瀬交流センター会場では、約一千体の雛飾りが展示されました。

## 春のひなめぐり



▲県内外から訪れた多くのファンが、「たたら風土記」とのコラボを楽しみました。

## 刀剣乱舞×たたら風土記

日本遺産「出雲國たたら風土記」の認定10周年を記念し、「刀剣乱舞 ONLINE」とのコラボ企画がスタートしています（詳細は11ページ）。

3月15日には、本企画に合わせ、和鋼博物館で同作の宣伝隊長「おつきい こんのすけ」の撮影会が開催されました。会場には、ぬいぐるみなどのグッズを持参した女性や家族連れなど、多くのファンが来場。参加者は、日本刀のルーツである「たたら製鉄」の息づく舞台上、キャラクターとの交流や記念撮影を楽しみました。